

美しい台湾雑技で国際交流！！

9日、杉並芸術会館（通称「座・高円寺」：高円寺北2丁目1番2号）で、今年4月に区と相互交流を推進する宣言を取り交わした国立台湾戯曲学院による「台湾雑技」公演が行われました。今回の公演は、宣言を取り交わして以降、区内で行われる2回目の企画になり、その華やかでアクロバットな動きで会場を沸かせました。

杉並区は、平成23年から台湾台北市と中学生の野球による交流を通じて、青少年の異文化理解・国際交流を深めてきました。以降、親善野球大会を継続して実施し、さらには、スポーツ以外の文化・教育などの分野においても幅広い交流を深めていこうと、今年4月には、杉並区を代表するお祭り「東京高円寺阿波おどり」の台湾公演が実現し、「国立台湾戯曲学院」との宣言書を取り交わしました。



今回の公演は、宣言書を取り交わしてから行われる、初めての交流行事となります。国立台湾戯曲学院は、台湾台北市にあり、京劇などの台湾伝統芸術の継承・発展を目指して人材育成を行い、全員が8年以上の厳しい教育を受けています。午後6時30分からの公演



では、旗やフラフープ・お皿を使用したさまざまな技・力や美を追求した表現、お茶目でユーモアのある演劇の本格的なパフォーマンスが披露され、250名の来場者から盛大な拍手が送られていました。

【報道機関 問い合わせ先】

区民生活部文化・交流課 電話 03-3312-2111